

## II

## 基盤整備

# 1 市街地の整備

## 現状と課題

市街地の整備については、坂田古氷土地地区画整理事業が完了したことで、良好な都市環境を整備することができたほか、未整理地区については古海第二地区地区計画の策定をはじめ、狭小な道路の拡幅などにより、生活環境の向上を図っています。

また、西小泉駅舎のリニューアルに合わせて、駅前公衆便所の改築を行い、町の入口でもある駅をはじめ、その周辺も含めた利便性の向上を図ったほか、町道の街路樹の管理などを行うことによる市街地の景観の維持・向上に努めています。

今後は、自然景観との調和を図りながら、持続可能なコンパクトなまちづくりに配慮した市街地整備が求められており、特に未整理地区については、利便性、快適性、安全性など良好な住環境などに寄与するため、適正な土地利用が求められています。

また、重要な都市機能の一つでもある公共交通として、千代田町と共同で運行している広域公共バス「あおぞら」については、隣接市のバスとの乗り継ぎの無償化や利用状況を踏まえたダイヤ改正のほか、利用促進に向けた啓発活動を行ってきましたが、今後も更なる利用者の増加に向けて、効率的な事業運営に努めていきます。

## 施策の基本方針

既存市街地の良好な都市環境を維持・向上させるため、適切な土地利用や都市施設等の配置などを検討し、持続可能なコンパクトなまちづくりを進めていくとともに、未整理地区の整備については、土地地区画整理事業や住民との協働による地区計画などの手法も視野に入れながら、住環境の改善に努めていきます。

また、土地の境界を明確にする地籍調査事業に取り組み、未整理地区などの住環境整備、宅地利用の促進、既存市街地の土地有効利用などを推進していきます。

広域公共バス「あおぞら」については、利用者の安全確保を最優先していく中で、事業費の一部を運賃などの事業収入によって賄うことから、運行経費の削減を図るとともに、更なる利用促進を図っていきます。

## 主な取り組み内容

- 適正な土地利用の推進
- 未整理地区などの住環境の向上
- 街路樹管理による道路環境の維持
- 地籍調査事業の促進による土地境界の明確化
- 広域公共バス「あおぞら」の利用促進に向けた啓発
- 乗降調査などによる利用者ニーズの把握

### K G I（重要目標達成指標）

	2017 年度 基準値	2021 年度 目標値
市街地の整備について満足している人の割合	34.3%	35.3%

### K P I（重要業績評価指標）

	2017 年度 基準値	2021 年度 目標値
地籍調査完了面積（累計）	—	1.21 km <sup>2</sup>
広域公共バス「あおぞら」の利用者数	27,516 人	29,800 人

## 2 道路網の整備・維持管理

### 現状と課題

良好な道路網を維持していくために、生活圏道路の補修や拡幅などを行うほか、老朽化が進む橋りょうについては、計画的な改修による長寿命化に取り組むとともに、歩行者の安全に配慮した段差の解消など、歩道のバリアフリー化も計画どおりに進めています。

また、県が整備した東毛広域幹線道路については、大泉邑楽バイパス区間の工事が完了したことから、さらに利便性を高めていくために、町ではこれに接続する都市計画道路の整備に向けて準備を進めています。

引き続き、歩行者をはじめ、すべての人が安全に通行できる道路環境を確保していくために、生活圏道路や都市計画道路の整備・維持管理に努めつつ、橋りょうの長寿命化を図っていく必要があります。

### 施策の基本方針

生活圏道路や都市計画道路については、地域の実情を勘案しながら整備や維持管理に努めていきます。

老朽化が進む橋りょうについては、「大泉町橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、計画的、効率的な修繕を行い、長寿命化を図ります。

また、歩道のバリアフリー化を推進していくとともに、交通安全にも配慮した道路環境整備に努めていきます。

### 主な取り組み内容

- 生活圏道路の整備・維持管理
- 都市計画道路の整備・維持管理
- 歩道のバリアフリー化
- 交通安全施設の整備
- 道路愛護運動の実施
- 橋りょうの修繕・長寿命化

### K G I（重要目標達成指標）

	2017 年度 基準値	2021 年度 目標値
道路網の整備・維持管理について満足している人の割合	37.9%	39.0%

### K P I（重要業績評価指標）

	2017 年度 基準値	2021 年度 目標値
交通安全施設整備箇所数	25 か所	26 か所
橋りょう維持補修箇所数（累計）	5 橋	11 橋
道路愛護運動への参加者数	20,028 人	20,900 人

### 3 公園・緑地の整備・維持管理

#### 現状と課題

公園や緑地の良好な環境を維持するために、既存遊具の点検や更新のほか、新たに高齢者向けの健康遊具の設置を進めるとともに、樹木の剪定や間引きなどを行っています。

また、一部未整備の部分が残っていた「いずみ総合公園」については、計画区域すべての整備が完了し、より多くの人が利用できる状態となりました。

町民にとって憩いの空間となる公園や広場などについては、安全性や快適性に配慮した整備や維持管理が求められることから、引き続き、遊具などの点検を行うほか、老朽化した公園施設については、長寿命化を図りつつ、補修や更新を行うとともに、成長した樹木の剪定や間引きを行う必要があります。

#### 施策の基本方針

公園施設については、安全で安心な利用ができるよう、遊具などの点検を行うとともに「大泉町公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的な補修や更新を行っています。

また、公園内の成長した樹木については、剪定や間引きなどを行い、安全性に配慮した管理に努めています。

#### 主な取り組み内容

- 公園・緑地の維持管理
- 公園遊具などの点検及び維持更新
- 高齢者向け健康遊具の設置

#### K G I（重要目標達成指標）

	2017 年度 基準値	2021 年度 目標値
公園・緑地の整備・維持管理について満足している人の割合	35.0%	36.1%

#### K P I（重要業績評価指標）

	2017 年度 基準値	2021 年度 目標値
都市公園遊具の補修箇所数（累計）	52 か所	136 か所
高齢者向け健康遊具の設置数（累計）	30 基	36 基
樹木の間引き・剪定を実施した都市公園数（累計）	10 公園	24 公園

## 4 河川・水路の整備

### 現状と課題

河川や水路については、大雨時などの冠水対策として、冠水箇所の雨水排水調査や側溝の新設及び改修を行うことで、浸水被害の抑制に取り組んでいます。

また、県が管理する主要河川である休泊川の改修工事については、町の要望も踏まえつつ、計画どおりに進んでいます。

市街地開発の進展に加え、近年多発している集中豪雨などの影響により、道路の寸断や宅地の浸水などの被害が増大していることから、町民が安全に安心して生活できるよう、冠水箇所などの調査を行い、更に改善を進める必要があります。

また、主要河川の改修については、管理者と調整を行いながら、早期完了に向けて取り組んでいく必要があります。

### 施策の基本方針

集中豪雨などにより浸水被害を及ぼす恐れがある箇所については、改修を施すことで被害の抑制に努めていくほか、排水路の適切な維持管理を行っていきます。

また、主要河川の改修については、管理者である国・県に対し、町の要望を的確に伝えていきます。

さらに、町民が参加する利根川河川敷の清掃活動を通じ、河川愛護と美化意識の高揚に努めていきます。

### 主な取り組み内容

- 冠水箇所の改善
- 水路・側溝などの維持管理
- 国・県への河川改修の要望活動
- 利根川河川敷清掃の実施

### K G I（重要目標達成指標）

	2017 年度 基準値	2021 年度 目標値
河川・水路の整備について満足している人の割合	33.8%	34.8%

### K P I（重要業績評価指標）

	2017 年度 基準値	2021 年度 目標値
国・県に対する要望活動件数	3 件	3 件
利根川河川敷清掃への参加者数	957 人	1,046 人
側溝清掃箇所数	8 か所	10 か所